

【日本経済調査資料シリーズ 8】

明治大正期 帝国信用録

THE BUSINESS-MEN'S CREDIT RECORD

第Ⅲ期 第3回配本 大正9年 全4巻

- 体裁：B5判・上製 約2,200頁 ISBN978-4-910672-67-0 C3333
- 定価：本体120,000円＋税



大正中期の東京府・神奈川・大阪・兵庫をはじめ、各府県、旧植民地の商工業者の人名録。

クロスカルチャー出版



日本経済調査資料シリーズ



【日本経済調査資料シリーズ1】世界遺産「富岡製糸場」はじめ各工場・鉱山の変遷を明らかにする基本データ集。

全国工場鉱山名簿 全3巻 **在庫僅少**

解説：阿部武司（大阪大学名誉教授）

●定価（84,000円＋税） ●B5判・総約1800頁 底本：『全国主要工場鉱山名簿』ほか。 ISBN978-4-9905091-0-1 C3333

【日本経済調査資料シリーズ2】米国司法省戦時経済局が押収した米日本商社資料を集めた貴重な資料。

米国司法省戦時経済局対日調査資料集 全5巻 **在庫僅少**

編集・解説：三輪宗弘（九州大学教授）

●定価（160,000円＋税） ●B5判・総約2,500頁〈改訂版〉 ISBN978-4-908823-17-6

【日本経済調査資料シリーズ3】明治・大正期の西日本を中心とした企業信用情報がわかるソース・ブック。

明治大正期 商工資産信用録 第Ⅰ期 第1回配本 全6巻

ISBN978-4-905388-12-8 C3333

●定価（130,000円＋税） ●B5判・総約3,800頁 底本：『商工資産信用録』（商業興信所刊 明治42年～大正元年）

明治大正期 商工資産信用録 第Ⅰ期 第2回配本 全9巻

ISBN978-4-905388-19-7 C3333

●定価（195,000円＋税） ●B5判・総約5,700頁 底本：『商工資産信用録』（商業興信所刊 大正4年～大正14年）

【日本経済調査資料シリーズ4】明治・大正期の東日本を中心とした企業信用情報がわかるソース・ブック。

明治大正期 商工信用録 第Ⅰ期 B5判上製 底本：『商工信用録』（東京興信所刊 明治32年～大正14年）

- 第1回配本（全4巻）明治32～44年 定価（100,000円＋税） 総約2,600頁 ISBN978-4-905388-29-6 C3333
- 第2回配本（全4巻）大正4年 定価（120,000円＋税） 総約2,100頁 ISBN978-4-905388-75-3 C3333
- 第3回配本（全4巻）大正7年 定価（120,000円＋税） 総約2,200頁 ISBN978-4-905388-89-0 C3333
- 第4回配本（全4巻）大正9年 定価（120,000円＋税） 総約2,100頁 ISBN978-4-908823-00-8 C3333
- 第5回配本（全4巻）大正14年 定価（120,000円＋税） 総約2,000頁 ISBN978-4-908823-10-7 C3333

明治大正期の各府県商工業者の営業状態や資産信用情報が詳細にわかる。中小商工者レベルまで網羅。外国人も収録。

【日本経済調査資料シリーズ5】「長尾文庫」からの企業資料セレクション。

明解企業史研究資料集 第1回配本 一旧外地企業編 全4巻

編集・解説：佐々木 淳（龍谷大学教授） ●定価（150,000円＋税） ●B5判・総約3,500頁 ISBN978-4-905388-48-7 C3333

旧外地の台湾、朝鮮、満洲国、中国閩内、南洋諸島の12社をセレクション。社史、事業概要・企業活動などを収めた初の資料集。

明解企業史研究資料集 第2回配本 総合商社鈴木商店関係会社編 全3巻

編集・解説：佐々木 淳（龍谷大学教授） ●定価（130,000円＋税） ●B5判・総約2,700頁 ISBN978-4-905388-94-4 C3333

鈴木商店関連資料のほか、関係会社から稀少な社史（豊年製油、天満織物）、樟脳事業関連資料などを復刻。商社史だけではなく産業史・地域史研究にも役立つ資料。

明解企業史研究資料集 第3回配本 繊維産業編 全3巻

編集・解説：佐々木 淳（龍谷大学教授） ●定価（130,000円＋税） ●B5判・総約2,500頁 ISBN978-4-908823-23-7 C3333

戦前期在来産業の代表・繊維業の地域別製造業者・問屋などを網羅する稀少資料を復刻。繊維産業史研究の第一級資料！！

【日本経済調査資料シリーズ6】昭和前期の西日本を中心とした企業信用情報がわかるソース・ブック。

昭和前期 商工資産信用録 第Ⅱ期 B5判上製 底本：『商工資産信用録』（商業興信所 昭和6年～昭和16年）

- 第1回配本（全4巻）昭和6年 定価（120,000円＋税） 総約1,700頁 ISBN978-4-908823-33-6 C3333
- 第2回配本（全4巻）昭和11年 定価（120,000円＋税） 総約1,700頁 ISBN978-4-908823-46-6 C3333
- 第3回配本（全4巻）昭和16年 定価（120,000円＋税） 総約1,750頁 ISBN978-4-908823-53-4 C3333

昭和前期の各府県商工業者の営業状態や資産信用情報が詳細にわかる。中小商工者レベルまで網羅。旧植民地や外国人の情報も収録。

【日本経済調査資料シリーズ7】昭和前期の東日本を中心とした企業信用情報がわかるソース・ブック。

昭和前期 商工信用録 第Ⅱ期 B5判上製 底本：『商工信用録』（東京興信所 昭和5年～昭和15年）

- 第1回配本（全4巻）昭和5年 定価（120,000円＋税） 総約2,000頁 ISBN978-4-908823-80-0 C3333
- 第2回配本（全4巻）昭和10年 定価（120,000円＋税） 総約1,800頁 ISBN978-4-908823-66-4 C3333
- 第3回配本（全4巻）昭和15年 定価（120,000円＋税） 総約1,800頁 ISBN978-4-910672-01-4 C3333

昭和前期の各府県商工業者の営業状態や資産信用情報が詳細にわかる。中小レベルまで網羅。

【日本経済調査資料シリーズ8】民間会社が調査・収集した商工業者の信用調査情報。銀行や保険会社も掲載。

明治大正期 帝国信用録 第Ⅲ期 B5判上製 底本：『帝国信用録』（帝國興信所 明治42年～明治45年）

- 第1回配本（全5巻）明治42年/明治45年 定価（160,000円＋税） 総約3,200頁 ISBN978-4-910672-19-9 C3333
- 第2回配本（全5巻）明治41年/大正4年 定価（165,000円＋税） 総約3,300頁 ISBN978-4-910672-45-8 C3333

各種の信用録を簡潔に解説し、符号表の読み取り方を指南した画期的な一冊。

『戦前期商工信用録解題—詳細とその活用法—』

ISBN978-4-910672-25-0 C3033

阿部武司（大阪大学名誉教授）著 定価（1500円＋税）

クロスカルチャー出版

学術出版

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-6
TEL：03-5577-6707 FAX：03-5577-6708
e-mail：croc99@sound.ocn.ne.jp

取扱書店

特需の終結により戦後恐慌に。 日本の輸出が急減、倒産が続出した。

刊行にあたって

クロスカルチャー出版編集部

小社は「日本経済調査資料シリーズ」の一環として、復刻版第一期『明治大正期 商工資産信用録』(全15巻)・『明治大正期 商工信用録』(全20巻)を刊行し、続いて第二期『昭和前期 商工資産信用録』(全12巻)・『昭和前期 商工信用録』(全12巻)を刊行しました。

また、帝国データバンク史料館の協力を得て、『日本経済調査資料シリーズ8』第三期『明治大正期 帝国信用録』第1回・第2回配本(全10巻)も刊行しました。今回続刊の第3回配本(全4巻)を刊行します。

底本の『帝国信用録』は、民間会社が発行する商工業者や企業の情報で、健全な取引を支える貴重な判断材料として機能し、その網羅性と継続性から日本の産業経営の変遷を探るための研究材料にもなっています(帝国データバンク史料館よりMuse vol.4「興信録」)。

この信用録は、前掲の『商工資産信用録』(外地商工業者を含めた西日本を中心とした商工業者信用情報)と『商工信用録』(東日本中心とした商工業者の信用情報)とは違って、全国レベルの商工業者と銀行や保険会社も掲載されているのが特徴です。

経済史・経営史資料発掘に努力し続けてきた小社にとってこの分野の研究の更なる発展に期待したいです。

「帝国信用録」は、「信用」(対物と対人に区分)、「年商内高又は収入」、「および」盛衰」が調査項目で、信用以下の諸項目には符号が付されている(表紙の「符号手引」を参照)。

内容見本

【第11巻】[東京]

氏名	住所	信用	年商内高又は収入	盛衰
伊藤 萬助	伊藤萬商店	信用	年商内高又は収入	盛衰
大林 義雄	大林組	信用	年商内高又は収入	盛衰
岩崎 小彌太	三菱社	信用	年商内高又は収入	盛衰

【第11巻】[東京]

氏名	住所	信用	年商内高又は収入	盛衰
伊藤 萬助	伊藤萬商店	信用	年商内高又は収入	盛衰
大林 義雄	大林組	信用	年商内高又は収入	盛衰
岩崎 小彌太	三菱社	信用	年商内高又は収入	盛衰

【第12巻】[大阪]

氏名	住所	信用	年商内高又は収入	盛衰
伊藤 萬助	伊藤萬商店	信用	年商内高又は収入	盛衰
大林 義雄	大林組	信用	年商内高又は収入	盛衰
岩崎 小彌太	三菱社	信用	年商内高又は収入	盛衰

「日本経済調査資料シリーズ8」

●明治大正期 帝国信用録 第三期 第3回配本 全4巻

大正9年第13版 総約2,200頁

【第3回配本】

- 第11巻 第13版 大正9年 東京府下・東京府銀行・全国保険會社
- 第12巻 第13版 大正9年 大阪府下・大阪府銀行・京都府下・京都府銀行
- 第13巻 第13版 大正9年 神奈川縣下・神奈川縣銀行・兵庫縣下・兵庫縣銀行・長崎縣下・新潟縣下・新潟縣銀行・長野縣下・埼玉縣下・群馬縣下・群馬縣銀行・千葉茨城縣下・栃木縣下・栃木縣銀行・三重奈良縣下・愛知縣下・静岡縣下
- 第14巻 第13版 大正9年 山梨縣下・岐阜滋賀縣下・宮城縣下・福島縣下・巖手青森秋田縣下・山形縣下・福井縣下・石川縣下・富山縣下・山口縣下・鳥取島根縣下・岡山縣下・廣島縣下・和歌山縣下・徳島香川愛媛高知縣下・福岡縣下・福岡縣銀行・佐賀縣下・熊本縣下・大分宮崎鹿児島沖縄縣下・北海道・朝鮮滿洲樺太・臺灣・朝鮮銀行

特色

- 1 大正中期の商工業者、銀行、保険会社情報を網羅。
府県ごとの業種・規模等商工業者の営業状態や資産・信用情報が満載。
- 2 台湾・朝鮮・滿洲の旧植民地の商工業者も掲載。
- 3 当時の実業家・会社に関するソース・ブック。

「帝国信用録」当時日本の信用調査機関は、財界の巨頭・渋沢栄一自身が中心となっていた東京興信所(明治29年創業)、『商工信用録』などを発行と大阪にあった商業興信所(明治25年創業)、『商工資産信用録』などを発行の2社だけ。信用調査自体が世間ではほとんど認知されていなかった時代に、創業者後藤武夫は、健全な経済活動の維持に不可欠な信用調査事業を独力で起業し、明治33年、東京市京橋区南鍛冶町1番地に「帝国興信社」を設立した。経済専門誌『帝国経済雑誌』をはじめ『帝国信用録』(明治41年初版発行)や『帝国銀行会社要録』(現・帝国データバンク会社年鑑)を刊行。大正15年には国内外の事業所網を54力所にまで伸ばし、帝国興信所はついに業界No.1の地位を築き上げた。

—帝国データバンクのホームページ、「TDBの歴史」等より

【第13巻】[長野]

氏名	住所	信用	年商内高又は収入	盛衰
岡谷 惣助	岡谷鋼機	信用	年商内高又は収入	盛衰
片倉 兼太郎	片倉製糸紡績	信用	年商内高又は収入	盛衰

【第13巻】[愛知]

氏名	住所	信用	年商内高又は収入	盛衰
岡谷 惣助	岡谷鋼機	信用	年商内高又は収入	盛衰
片倉 兼太郎	片倉製糸紡績	信用	年商内高又は収入	盛衰

【第14巻】[福島]

氏名	住所	信用	年商内高又は収入	盛衰
諸橋 久太郎	金物貨地業	信用	年商内高又は収入	盛衰

時代がよめる!! 績、東京地下鉄道などが設立された。

推薦します

『帝国信用録』の掲載項目は、地理情報としても有益

九州大学 大学院経済学研究院 准教授 鷲崎俊太郎

キャッシュレス化の進捗する現代日本で、信用取引は必要不可欠な存在だといえます。翻って商人間の信用取引の起源を考えてみるに、手形は近世の大坂や絹織物産地の桐生・足利で使用・流通していましたが、前者は小切手に近く、後者は地域内での流通に限定されました（寺西重郎 [2011]『戦前期日本の金融システム』岩波書店、206-208頁）。1893年に旧商法が施行されましたが、当時の銀行営業でも抵当貸が大半を占め、信用貸はわずかででした。

日本で信用調査機関が誕生したのは、ちょうどその頃です。1892年に大阪で商業興信所が、1896年に東京で東京興信所が、さらに1900年に帝国興信社（のち帝国興信所）が設立されました。3社とも会員制度を採用し、現場に赴いた担当者による報告書をもとに、個人の資産・信用を調査した「信用録」や、企業情報を収録した「会社録」を出版しました。

とくに「信用録」は、その信用情報を厳重に守るべく、正味の身代や信用の程度などを表す評価項目を符号で記載したため、会員は別紙の「符号手引」にある符号と照合しながら、その大小やランクを把握しました。また「信用録」は、会員の求めに応じて貸与され、脱会時には原則的に返却されました。それだけに、「信用録」は後世に残りがたい資料でした。

帝国興信所の信用録である『帝国信用録』は、全国の商工業者まで対象とするのみならず、調査対象の「盛衰」まで評価できている点に特徴を有します。その存在はこれまで、第2版（1909年）までしか溯及できませんでしたが、今回の第1版（1908年）とその「符号手引」の発見は、日露戦後期の信用情報を1年でも早く知るうえで、喜ばしく感じられます。

これまで「信用録」を用いた研究の舞台は、近代日本の経営史にありましたが、この機会を利用して、隣接の他分野にもその利用を推奨できれば幸いです。たとえば、歴史地理学では、商店街の空間変遷を時系列的に分析する動向が見られます。ここにおいて『帝国信用録』の掲載項目は、地理情報としても有益な一次情報をもたらします。帝国興信所の詳細な調査情報を、100年後の我々は「会員」にならずとも、利用できる機会を与えられているのです。



Crossculture
Publishing
Company Ltd.

●大正9年(1920)。第一次世界大戦の

【第13巻】【神奈川】

【第13巻】【京都】

【第12巻】【大阪】

(6)

姓名	住所	職業	信用
八代三太郎	神奈川 横浜	商	...
八郎	神奈川 横浜	商	...
大田 重吉	神奈川 横浜	商	...
矢野 平助	神奈川 横浜	商	...
矢野 長雄	神奈川 横浜	商	...
矢野 常次郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...

●原 富太郎 (実業家、生糸商)

(83)

姓名	住所	職業	信用
八代三太郎	神奈川 横浜	商	...
八郎	神奈川 横浜	商	...
大田 重吉	神奈川 横浜	商	...
矢野 平助	神奈川 横浜	商	...
矢野 長雄	神奈川 横浜	商	...
矢野 常次郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...

●矢代庄兵衛 (帯地)

(101)

姓名	住所	職業	信用
八代三太郎	神奈川 横浜	商	...
八郎	神奈川 横浜	商	...
大田 重吉	神奈川 横浜	商	...
矢野 平助	神奈川 横浜	商	...
矢野 長雄	神奈川 横浜	商	...
矢野 常次郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...
矢野 清太郎	神奈川 横浜	商	...

●田邊五兵衛 (薬種卸)

●人物から会社・産業がわかる、 ●日立製作所、日本曹達、片倉紙

【第14巻】【北海道】

【第14巻】【福岡】

【第14巻】【岡山】

(38)

姓名	住所	職業	信用
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...

●相馬鉄平 (相馬商店社長)

(38)

姓名	住所	職業	信用
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...
相馬鉄平	北海道 札幌	商	...

●松永安左衛門 (会社役員)

(7)

姓名	住所	職業	信用
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...
大原孫三郎	岡山 倉敷	商	...

●大原孫三郎 (倉敷銀行頭取)

明治期の教育機関で使用された日本語教科書から厳選して復刻!!

【文学・言語研究資料シリーズ5】

近代日本語教科書選集

補遺編 全4巻

■編集・解説：李 長波（同志社大学教授）
■体裁：B5判・上製・総約2,500頁
■定価：137,500円（本体125,000円+税）ISBN978-4-910672-60-1 C3381



クロスカルチャー出版

【文学・言語研究資料シリーズ5】

近代日本語教科書選集

補遺編 全4巻

■編集・解説：李長波（同志社大学教授） ■体裁：B5判・上製・総約2,500頁
■定価：137,500円（本体125,000円+税）ISBN978-4-910672-60-1 C3381

- 第1巻
- One thousand familiar phrases in English and romanized Japanese / by John Liggins, second edition, New York: Houghton, 1867.
 - Familiar dialogues in Japanese with English and French translations for the use of students, by R. Alcock, Trübner & co, 1863.
 - Conversations in Japanese & English: compiled for the use of visitors and residents, by J. F. Lowder, Yokohama: Printed at the "Japan Times" office, 1867 [慶応3]
 - 『童蒙讀本會話編』初編・二編・続編 市岡正一著 出版者 市岡正一 明6.5-6.8
 - 『太田氏會話篇』全二巻 二冊 太田隨軒編 太田隨軒藏版 明治6.8 [1873.8]
 - 『童蒙會話編』一冊 大川堂主人編 誠之堂 明治6.11 [1873.11]
 - 『小學會話篇』全二冊 上羽勝衛纂 大觀堂藏版 明治7.2 [1874.2]
 - 『小學會話之捷徑』井出猪之助輯 上巻・下巻 [付録] 二冊 大阪：文敬堂 明治7.6 [1874.6]
 - 『日本會話』巻1 一冊 著者 中村最文著 出版者 島屋平七等 明治7.7 [[1874.7]
 - 『日本會話篇』巻1, 巻2 二冊 橋爪貫一編 出版者 玉山堂 明治7 [1874]
 - 『童蒙會話編』初篇 一冊 田中岩太郎著 森田文蔵 明治8.1
 - 『皇朝會話篇』全 一冊 西野古海著 二書堂 明治8.2
 - 『沖繩對話』二巻 明治15 (1882) 沖繩縣學務課編纂；[上], [下]、一改正再版 一 沖繩縣, 1882.10. [正誤表附]
 - Japanese colloquial texts with translations and notes, by Lloyd, Arthur, London: Kegan Paul, Trench, Trübner & Co., etc., 1890
- 第2巻
- 『東語簡要』玉燕居士編、光緒10 [明治17/1884] 年刊
 - 『東語入門』陳天麒編、光緒21年 (明治28/1895年) 刊 (石印本)
 - 『東語正規』唐寶鐸・戢翼翬著 一作新社, 光緒32年1月 [明治39.1/1906.1] 刊
 - 『廣和文漢讀法』(普通東文速成法) [嚆隱主人] 著 光緒28 [明治35/1902] 刊
 - 『東文典問答』丁福保編 屈璠校 上下二冊 文明編譯書局 光緒27 [明治34/1901] 序刊
 - 『漢譯學校會話篇』菊池金正著 東京：誠之堂書房, 明治39 (光緒32/1906) 年刊
 - 『實用會話篇：中日對照』唐木歌吉著 王盛春訳 中東書局, 明治39.12 [1906.12] 年刊
- 第3巻
- 『日文教程』第一篇～第四篇 成城学校編 成城学校出版 明治36.2 [1903.2] 刊
 - 『東語眞傳』全 泰東同文局撰 泰東同文局出版, 明治36.3 [1903.3] 刊
 - 『日本俗語文典』吳初・孟先編 光緒31年 [1905年/明治38] 刊
- 第4巻
- 『日本語教科書』宏文學院編 東京：金港堂書籍, 1906.6-8 [明治39.6-8] 刊
 - 『漢譯日本口語文法教科書』松本龜次郎著 東京 笹川書店 大正8 (民国7) 初版 昭和13年5月訂正増十八版

〈おすすめ先〉 日本語学・国語学・言語学・日本語教育学・近代文学・中国語学・中国文学の研究者・大学・短大図書館／公共図書館など

クロスカルチャー出版

学術図書

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-7-6
TEL：03-5577-6707 FAX：03-5577-6708
e-mail：crocul99@sound.ocn.ne.jp

取扱書店

同志社大学教授 李長波

その間、近代日本語教科書の研究は長足の進歩を遂げたことと、既刊十四巻に収録した教科書が数多くの研究に活用されたことに大きな喜びを感じながら、いつそう選集の最善を尽くすべき責任を負う結果となりました。望外の喜びを越えて嬉しい悲鳴でした。いまにして振り返れば、近代は、すべての始まりでした。日本語教科書も例外ではありません。

本補遺編には、日本人による、日本人のための教科書には、『沖繩対話』のほか小学生向けの会話書を収録しました。これらの教科書の、口語のみならず、ところどころ古語や英語直訳の日本語を垣間見るにつけ、日本語話し言葉の近代化の、ごく初期ならではの、初々しい姿が窺われて微笑ましいかぎりです。そして、既刊及び本補遺編の編集を通じて、編者が勉強になったのは、日本と中国が、時を前後して、書き言葉と話し言葉の近代化の道筋を、ほぼ同じ歩調で歩んでいたことを再認識したことでした。

日本語教育史、日本語学史、日本語史、日本語文体史、日本語の国際化の歴史、異文化コミュニケーション並びに関連分野の研究者に、謹んでお送りいたします。

會話書、教材、研究書によって明らかにすることができるであろうと考える。

特色

② 日本語教育機関及びその教師の手になる日本語教科書に並んで、沖縄での日本語教育の教材『沖縄対話』を採った。これによって、当時の沖縄語と本土で用いられる日本語との対照研究の資料を提供した。

④ 小学校低学年向けとはいえ、日本人による日本人のための日本語教科書を選った。これによって、明治初期の国語教育における会話書の実態を知ることができただけでなく、その教材の中には、文語、口語、ひいては英語直訳調の文章が用いられている、という日本語の話し言葉の近代化の、ごく初期ならではの実情を知るのが役立つであろうと思われる。

5 本補遺編に収めた教科書は、編者の国籍や教学対象の如何に関係なく、日英語日清、日中言語の対照研究のための資料としてその価値を同じく有するものである。これらの資料、もちろん本補遺編のみならずその他の関連資料をあわせて用いれば、英語という大きな外国語の影響下にあつて、日本、中国では、書きことばの近代とともに、話し言葉の近代化の道筋、両者間の影響関係を、会話書、教材、研究書によつて明らかにすることができであろうと考える。

▲成城学校の教科書から「蛭蟲」。
 (『日文教程』明治36年刊、第3編第48課)【第3巻】

ハ手研ダラウ。
ハチ子不思圖ナ事ヲアツク者ダナア。
サ手分リナイナア。

以上一カカリ五ノデ直叙詞ハ、對手ヲ待タナイデモ、自然ニ發スル者ダス。

六、節部ノ叙述詞。格ノ言ヒ出サシ時、我ムル體ヲビデス。

エイ一寸晝に由ヘ申上テマス。
アノ行ダザイマース、カコソノデゴザイマース。
七、演進ノ叙述詞。
ネイナア、ナウケトドワイ。
ナア君、シメアイキダラウ。
ナント御米加ナヌ下ドマイマスマイク。

嘆息、悲壯聲貌。
可憐貌、很長音性的。
罵詈、不能理解の復讐。
以上自一至五ノ叙述詞、不必得難千、獨自發明者也。
六、節部ノ叙述詞、語義皆所之時、所從聲告也。

唉、云説給聞一點ノ語部。
罵詈々々、其聲貌、即如此の。
七、演進之叙述詞。
可以說、進歩如何の結末増々。
修羅、戰馬ノ様貌。
罵詈聲容各顯々々、不行能。

二六八

八、時々々々歌歌詞。
モシモシ「中御事申シユ」。
ヤア君デシカ、想デシカネイ。
ヤイ、其何處ヘ行ゾ。
オイ車居。
オ、イ人、殺シデ。
九、時々々々表ノ書。
リレ自轉車ノ突、倒ゾ。
リヲ急ナイ、即ヘ急「ルゾ」。
オ、底ノ急、倒ゾ。
オ、急ナイ。
オ、急「表ハス事」。
コレ何ヲ爲カ。
八、時々之盛歌詞。
惜光々々、其間度々「默事情」。
頃々盛々、老衰見々々々。
呀、你思思。
然、車夫。
愛愛、殺人耶。
九、若自轉車。
頃、自轉車傾倒。
頃、危險、你要其倒滿矣止下。
頃、甚危險矣。
頃、危險。
一〇、表自轉車者。
嗚、彼表底。

③松本亀次郎著『漢譯日本口語文法教科書』(大正8年初版、昭和13年5月訂正増補第18版)【第4巻】

●『近代日本語教科書選集 補遺編』解説抜粋 ●

第1巻：

①日本會話 卷1 一冊 中村最文著 出版者：島屋平七等 明治7.7 [1874.7]. [32丁]

・吾レハ、^{フナ}常ニ、^{ロクジハシ}六時半ニ、オキマスル。汝ジノ、^{イモト}兄弟ハ、ドコニ、オイデ、ナサイマス。/^{カレ}彼ハ、^{モダ}未ダ、オキテ、マイリ、マセン。(巻一：三丁)

・^{ドシ}何ナ、ウツクシキ、^{アサ}朝ヨ。(巻一：四丁)

・^ソ夫レヘ、^ザ坐セ、^{キミ}君ヨ。(巻一：五丁)

・ドウゾ、牛乳ヲ、ワヅカ、^{アツ}與ヘヨ。(巻一：五丁)

これらの用例のなかで、「デ^ア有ル」に加えて、「デ^ア有ツタ」も使われているのは、その由来を考えれば、英文和訳の流れを汲むものと見てよさそうである。特に「夫レヘ、坐セ、君ヨ。」や「茲ニ、有ル物ガ、アル。君ヨ。」、英文訓読の名残を思わせるなど、全体的に英文よりの日本語、しかも文語「吾レ」「汝ジ」に加えて「彼」も混じるなど、それだけ同時代の日本語の話し言葉からの隔たりは大きいのは、いかんともしがたい。

内容見本① 中村最文著『日本會話』（明治7年7月刊）五丁…………… 

第2巻：

②實用會話篇：中日對照 唐木歌吉著 王盛春訳 中東書局 明治39年12月 [1906.12] 刊

本書は、張君、李君二人の日常生活の場面を二十五回に分けて、それぞれ

乗車語、訪問語、旅館語（一）、閑話、旅館語（二）、旅館語（三）、旅館語（四）、雑語（一）、早晨應答語、誘引語、出門語、歸家語、雑語（二）、旅館語（五）、閑話（二）、買物語（一）、買物語（二）、歸宿語（二）、閑話（三）、理髮語、雑語（三）、入學語（一）、入學語（二）、菜館語、閑話（四）、雑語（三）、雑語（四）、閑語（五）、尋下宿語（一）、尋下宿語（二）、尋下宿語（三）、閑話（六）、牛乳舗語、歸宿語、雑語（五）、雑語（六）、轉宿語、雑語（七）、定做洋服語、定做靴子語、問疾語（一）、問路語（一）、問路語（二）、乗電車語、病院語、問疾語（二）、疾病語、診察語、散歩語、乗汽車語、雑語（八）、喫茶舗語、閑話（六）、鉄修繕語、雑語（八）、盜難語、申告書寫法、警察語、賀年語、面會語、日本語演說會、張君卒業、紹介依頼語、学校參觀語、辭別語

となっている。

留学生一人が来日から卒業して帰国するまでの主な生活の場面を網羅したわけではないが、主立った場面は、ほぼ尽くしたといってよい。とりわけ、第二十二回 日本語演說會の場面は、類書に例を見ないものである。

内容見本② 實用會篇：中日對照 唐木歌吉著 王盛春訳 中東書局（明治39年12月刊）204-205頁…………… 

第4巻：

③漢譯日本口語文法教科書 松本亀次郎著 東京 笹川書店 大正8（民国7）初版 昭和13年5月訂正増補第18版

本書の「緒言」には、「舉例ハ、一々割切ノ漢字ヲ充當シ、翻譯ハ主トシテ北京官話ヲ用ヒ、其ノ適譯ヲ發見セザル者ハ已ムヲ得ズシテ文語ヲ混用セリ」（3頁）という。実際、本書の中国語訳はすべての日本語に対訳式で附され、こなれた北京語である。これは、もちろん訳者の規範意識による共通語という限定はつくものの、北京語の資料価値が高いと言わなければならない。というのは、これだけの体系的な文法中心の日本語教科書にすべて中国語訳が附されたこと自体、同じく近代化の途上にある両言語の歩調の一致、乃至歩幅の違いもふくめて、あるいは両者の近代化の歩みの前後関係を、ここに見ることができるからである。ほんの一例を挙げると、例えば、

エイ一寸^{ハナフ}皆様ニ申上ゲマス 唉、我說給^{タガフ}您們一點兒話哪。(298頁)

の二人称敬語の「您」に複数の「們」を付ける言い方について、おそらく諸家の見解の分かれるところであろうが、資料として現に存在することは、動かない。ちなみに、本書の中国語訳は、「悉ク錢稻孫先生ノ閩正ヲ經タモノデアル」（「増訂版發行ニ就イテ」）というから猶更であろう。

先の引用箇所が続いて、「由來本書の譯文ハ、讀者ノ比較研究ニ便ズル爲、務メテ原文ト語々相對スルコトヲ期シタノデ、往々措辭ノ妥當ヲ缺ク者ノ有ルヲ免レナカツタガ、今幸ニシテ、先生ノ親切丁寧ナ削正ヲ經タノデ、完全ニ此ノ缺點ヲ除去シ、本書ノ聲價ヲ一層高メ得タ次第デアル。」（「増訂版發行ニ就イテ」）と述べている。松本亀次郎自身も、教科書としては無論、本書の中国語訳の精確さを自負していた。

内容見本④ 漢譯日本口語文法教科書 松本亀次郎著 笹川書店（大正8年初版、昭和13年5月訂正増補第18版）298頁…………… 

近代日本語教科書選集

全3回配本 [全14巻] 好評発売中

■編集・解説／李長波（同志社大学准教授）

■定価：本体370,000円＋税 ■体裁 B5判・上製・総約7,000頁

第1回配本(全5巻)

定価：本体120,000円＋税 総約2,200頁（2010年2月刊行） ISBN978-4-905388-00-5 C3381

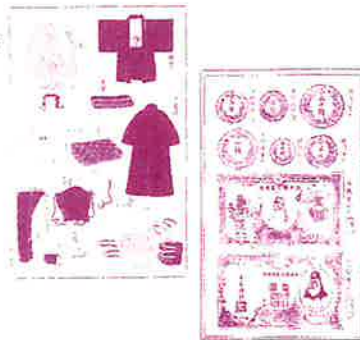
- 第1巻 ・An elementary grammar of the Japanese language: with easy progressive exercises / by Tatui Baba. London: Trübner, 1873
・An elementary grammar of the Japanese language: with easy progressive exercises / by Tatui Baba: with an introduction by Arthur Diósy. 3rd ed. / revised by G.Ukita. London: Kegan Paul, Trench, Trübner, 1904
・Colloquial Japanese, or, conversational sentences and dialogues in English and Japanese, together with an English—Japanese index to serve as a vocabulary and an introduction on the grammatical structure of the language / by S.R.Brown. Shanghai: Presbyterian mission Press, 1863
- 第2巻 ・An introductory course in Japanese / by Clay MacCauley. Yokohama: Kelly and Walsh, 1896
- 第3巻 ・『言文對照漢譯日本文典』松本龜次郎 中外圖書局 明治37年
・『日語指南』金井保三 丁酉社 明治38年
- 第4巻 ・『実用東語先璧』新智社編輯局編 新智社 明治38年
・『東語集成』金太仁作 東亜公司 明治39年
- 第5巻 ・『漢譯日語文法精義』高橋龍雄 東亜公司 明治39年
・『日語用法自習書』渡邊直助・楊汝梅 清国学生会館 明治40年
・『日語活法』大宮貫三 早稲田大学出版部 明治40年



第2回配本(全5巻)

定価：本体130,000円＋税 総約2,700頁（2010年6月刊行） ISBN978-4-905388-06-7 C3381

- 第6巻 ・Kuaiwa hen, twenty-five exercises in the Yedo colloquial, for the use of students, with note / by Ernest Satow ; pt. 1. 2: Notes and paradigms, Yokohama : Lane, Crawford, 1873. 初版
・『春秋雜誌 會話篇』=Kuaiwa hen Japanese text : Part Ⅲ (1), Part Ⅲ (2). 18
・『春秋雜誌 會話篇』=KUAIWA HEN Ⅲ PARTIE Texte Japonais, EXERCICES I-XXV
・『交易問答』加藤弘藏 上・下 谷山楼 1869. 初版
- 第7巻 ・『和文漢讀法 附譯書語彙編叙例』梁啓超原著・沈翔雲編 勵志會譯書處 1900. 初版
・『和文漢讀法』梁啓超原著・夢花盧氏增刊[出版地不明][刊年不明]
・『東文易解』大矢透 泰東同文局 1902. 初版
・『日清對照清人適用日本語典』井上友吉 青山堂 1905. 初版
・『日英語比較研究』A comparative study on English and Japanese languages 中村小次郎 早稲田大学出版部 1905. 初版
・『日本文典課本』大矢透 泰東同文局 1905. 初版
・『漢譯日語階梯』松下大三郎 誠之堂 1906. 訂正第4版
- 第8巻 ・『日清對譯實用日本語法』岸田蒔夫 明文堂 1906. 初版
・『日本文典講堂問答』菊池勉 中和堂 1906. 初版
・『日清對譯編』松平康国 東亜公司 1907. 初版
- 第9巻 ・A short grammar of the Japanese spoken language, 2nd ed./ by W.G.Aston : Belfast : F.D. Finlay, 1871. 第2版
・A short grammar of the Japanese spoken language, 3rd ed./ by W.G.Aston : London : Trübner, 1873. 第3版
・A grammar of the Japanese written language with a short shrestomathy / by W.G.Aston : London: Phoenix, 1872. 初版
・Wa and Ga / William Imbrie : Tokyo : Kyo Bun Kwan, 1914. 初版
・『和漢英對照文法』田森長次郎 早稲田大学出版部 1913. 初版
- 第10巻 ・『日語全璧』文求堂編輯局編 文求堂書局 1930. 再版
・『日華對譯現代日本語會話文法』堀越嘉博・浅井周治 大連:大阪屋號書店 1940. 増補第15版



第3回配本(全4巻)

定価：本体120,000円＋税 総約2,100頁（2011年6月刊行） ISBN978-4-905388-35-7 C3381

- 第11巻 ・Prendergast's Mastery System, Adapted to the study of Japanese or English / by S.R. Brown, F.R. Wetmore, 1875
・Handbook of English -Japanese etymology / by William Imbrie, Tōkiyō: Torindow, T.Ishikawa, 1884. 初版
・Handbook of English -Japanese etymology / by William Imbrie, Tōkiyō: Z. P. MARUYA AND Co., Limited. 1889. 第2版
- 第12巻 ・『交易問答』:全 / 加藤弘藏著[出版地不明]:[出版者不明], 1881.9. 初版
・『にほんごとくほん』浦潮斯徳東洋語学校編 Владивосток: Восточный Цздательство, 1901. 初版
・『東語初階』泰東同文局編 東京:泰東同文局 1902.8. 初版
・『日語獨習書』郭祖培・熊金寿著・村上恵達閣 大阪:東文学堂 1903.8. 初版
・『日語捷徑一名文法栞』長尾永五郎著・和田純閣 東京:誠之堂 1905.2. 初版
・『漢譯日語要覽』松村政親著 東京:岡崎屋書店 1906.6. 初版
・『東語簡要』葛夢樸編 東京:細川小三郎 明治 1906.10. 初版
- 第13巻 ・『文法應用東文漢譯軌範』門馬常次著 東京:東亜公司 1906.7. 初版
・『新式東語課本』一編 中堂謙吉著・伊澤修二閱 東京:泰東同文局 1906. 初版
・『新式東語課本』二編 中堂謙吉著・伊澤修二閱 東京:泰東同文局 1907. 初版
- 第14巻 ・『東語自得指掌 又名日本語獨案内』文求堂編輯局著 東京:文求堂 1907.7. 初版
・『東語會話大成』井上翠著・松雲程閱 東京:国文堂書局 1907.4. 初版
・『漢譯對照 日語讀本』小山左文二著 東京:三松堂書房 1907.6. 初版
・『新撰東語指南 又名日本語獨案内』文求堂編輯局編 東京:文求堂書店 1917.6. 初版



近代の息吹を伝える貴重な資料群

永澤 済（上智大学言語教育研究センター教授）

『近代日本語教科書選集』は、画期的な資料集である。主に外国人に向けて、英語や中国語で書かれた日本語教科書類をとおして、近代の新しい日本語観を伝えている。

そこに示される日本語文法は、前近代の国学系の見方とも、現代の分析とも異なり、多くの点で過渡的な面がみられ興味深い。たとえば、Aston、Baba、Brownらの著者による品詞分類では、「Preposition（前置詞）」や「Postposition（後置詞）」といったカテゴリーを立てているが、それらは現代の「助詞」に相当する。また、「Gender（性）」の概念が日本語にあるか、といった西洋文法の枠組みがそのまま持ち込まれたりもしている。一方、動詞の活用体系を大きく三分類している点などは、現代の、外国人向け日本語教育や学校文法（いわゆる五段活用／一段活用／変格活用といった分類）の分類法と重なり——活用の説明に不正確な点はあるものの——文法規則の発見・整理という点で先進的な分析が光る。

本選集に取り上げられた著者のひとり、馬場辰猪は言う。「口語日本語は、思想や知識を伝え得る体系的な文法を備えており、国民への普通教育の手段として十分に完成されている、そのことを示すためにこの文法書を書いたのだ」と。これは、森有礼らが唱えた「日本語廃止・英語採用」論に対する鋭い批判であった。馬場自身は、格調高い英文を書き、John Lockeらの著述を自在に引用するほどの英語力をもっていたが、普通教育はあくまでも母語で行われるべきとの考えであった。彼は、習得の難しい英語を普通教育の手段として強いることにより教育格差が生じ、一部の人たちが社会から締め出されてしまうことを懸念したのである。彼の鋭く温かい眼差しは、現代社会に照らしても新鮮である。

本選集に採られた教科書は、それぞれに個性が光るが、個々の著者の日本語観を比較しつつ、それらがなぜ、どのような観点で整理されたものなのかを考察してみることは、思想、言語、歴史、社会、教育といった様々な分野において示唆的であろう。近代日本と海外との文化交流の様子も垣間見える。私たちはそこに、混沌と希望の渦巻く近代の息吹を実感するのである。専門家のみならず、日本語と日本文化に関心のある国内外の読者に一読をすすめたい。

推薦します

『近代日本語教科書選集 補遺編』刊行に寄せて

木村 一（東洋大学教授）

『近代日本語教科書選集 補遺編』全4巻が刊行されることとなった。『近代日本語教科書選集』全14巻が刊行されたことも記憶に新しいのではあるが、すでに15年の月日が経ったとのことである。時間の経過とともに研究を取り巻く周辺環境も大きく変わりつつあるが、文献資料を活用して時間と空間を往来することには変わりがない。そして、同時に何をどのように調べ、考えていくかの指針を必要としている。

しかしながら、時として豊富な余り、方向性を見失うことがある。あたりを付けると言っても良いのかもしれないが、資料の性格を把握するために、どこをどのように見るべきなのかを把握することはそれぞれに異なり、とても難しい。『近代日本語教科書選集 補遺編』は既刊の『近代日本語教科書選集』と同じく、研究を進める上で欠くことができないさまざまな性格を持つ資料を一堂に確認することができる。そして、細やかで行き届いた「解説」と、関連する事項を網羅した「参考文献」を提示してくれているため、思いがけない関連などに気づかされる。数例にすぎないが、「ヘイ」とするのか「ハ」とするのか、時刻をどのようにとらえていたのかなど、当時の日本語をそのまま保存している側面がある。正誤の判断も欠くことができないが、萌芽ともいえる新たな語彙・語法を収録しているのとらえることができるものも多く含まれている。そして、時に「解説」は極めて慎重に、会話が躍動感あふれる話ことばの実態を示しているのか、規範的に記載されているのか、その状況（使い分けとも）について解説を加えている。

「解説」を頭の中に蓄えた上で、資料と対峙できることはありがたい限りである。当時の日本語を書きとめるとともに、英語や中国語（漢文）も記されているため、誰によって、誰のため、何のため、といったことに留意しながら、どのように日本と海外が接しようとしていたのか、そして相互に影響を授受していたのかを知ることができる。また、それぞれの教科書が日本語学の資料としてはもちろんのことであるが、読み物としても興味深く、日本の制度、風習・習慣そして風俗、また関心事などを紐解く資料としても活用できる。

今回刊行された『近代日本語教科書選集 補遺編』が加わることで、既刊の『近代日本語教科書選集』とあわせた18巻が、これまで以上に相互に深く連動し、近代日本語教科書、さらには近代日本語の羅針盤としての役割を十二分に果たしてくれることを心から期待したい。



Crossculture
Publishing
Company Ltd.

【日本現代史シリーズ 14】

戦後学力テスト研究 資料集 第2回配本 全3巻

- 編集・解題：北野秋男（日本大学文理学部特任教授）
- 体裁：B5判・上製 約2,000頁 ISBN978-4-910672-56-4 C3337
- 定価：本体 100,000 円+税



クロスカルチャー出版



【日本現代史シリーズ 14】

戦後学力テスト研究 資料集 第2回配本 全3巻

- 編集・解題：北野秋男（日本大学文理学部特任教授）
- 体裁：B5判・上製 約2,000頁 ISBN978-4-910672-56-4 C3337
- 定価：本体 100,000 円+税
- 巻構成
第4巻 関西
第5巻 中国・四国
第6巻 九州・沖縄
- おすすめ先：教育学、教育史、教育課程、教育社会学、教育心理学、発達心理学、教科教育学、認知科学の研究者等。大学図書館、公共図書館。

好評既刊【日本現代史シリーズ】

【日本現代史シリーズ 1】

福島原発設置反対運動裁判資料 第1回配本 全3巻

- 編集・解説 安田純治（弁護士）/ 解題 澤 正宏（福島大学名誉教授）
- 体裁 B5判・上製・総約2,400頁 ●定価 本体 150,000 円+税 ISBN978-4-905388-44-9 C3332
- 『東京電力株式会社の公有水面埋立免許申請に係る福島県知事の免許についての審査請求書』、
『公有水面埋立免許取消請求事件 訴状』『福島第2原子力発電所原子炉設置許可取消請求事件 最終準備書面』、福島地方裁判所判決他収録。

【日本現代史シリーズ 2】

福島原発設置反対運動裁判資料 第2回配本 全4巻・別冊

- 解説 安田純治（弁護士）/ 編集・解説・解説 澤 正宏（福島大学名誉教授）
- 体裁 B5判・上製・総約1,700頁 ●定価 本体 88,000 円+税 ISBN978-4-905388-53-1 C3332
- 原告、下請労働者に関する基礎調査、訴訟資料、被告、原子力委員会、東京電力、福島県などの資料他収録。

【日本現代史シリーズ 3】

伊方原発設置反対運動裁判資料 第1回配本 全4巻・別冊

- 解説 藤田一良（弁護士）/ 編集・解説・解説 澤 正宏（福島大学名誉教授）
- 体裁 B5判・上製・総約3,500頁 ●定価 本体 160,000 円+税 ISBN978-4-905388-58-6 C3332
- 伊方原発行政訴訟【資料1】【資料2】【資料3】、伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件 準備書面、伊方原子力発電所裁判証言記録、伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件判決他収録。

【日本現代史シリーズ 4】

伊方原発設置反対運動裁判資料 第2回配本 全3巻・別冊

- 編集・解説・解説 澤 正宏（福島大学名誉教授）
- 体裁 B5判・上製・総約1,700頁 ●定価 本体 90,000 円+税 ISBN978-4-905388-58-6-1 C3332
- 上告理由書、上告理由補充書（三）「加圧水型原発の終焉」、準備書面一スリーマイル島原子力発電所の事故は人類破滅への道を指し示す、最高裁、高松高裁判決部分、別冊に詳細な伊方原発関連年表を収録。

クロスカルチャー出版

学術出版

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-7-6
TEL：03-5577-6707 FAX：03-5577-6708
<http://crosscul.com>

取扱書店

刊行にあたって

北野秋男（日本大学文理学部特任教授）

今日、日本を含めた世界各国において国際競争力の向上やエビデンス主義の潮流の下で学力テスト体制が構築されている。PISAやTIMSSに代表される「国際学力テスト」、文部科学省「全国学力・学習状況調査」、各都道府県や市区町村が実施する「地方学力テスト」など、学力テストが重層的に実施される時代を迎えている。こうした学力テストは、児童生徒の学力の実態把握を行い、学習指導や教育施策の改善に活用するためのものである。

こうした日本の学力テスト体制は、実は一朝一夕に構築されたものではなく、歴史的な基盤や構造を持ったものである。特に、日本の「ローカル・テスト」は各都道府県・市区町村において自律的・自主的に開発・実施されたものであった。戦後の「学力テスト」の開発・実施における歴史的展開を解明する学術的な意義は、現代において全国的に普及・浸透する学力テスト体制が戦後直後から構築された歴史的基盤の上に成立するものであったことを明らかにすることである。

本書は、戦後の47都道府県における「標準学力テスト」の開発・実施の実態を各都道府県が刊行した資料に基づいてセレクトし、編集したものである。学力テストの中でも「標準学力テスト」は、一定の標準的な問題をテスト問題の専門家が作成し、一人ひとりの児童生徒の学力の実態を一定の「規準」(norm)に基づいて評価するものである。そして、全体の平均点や標準点などを明らかにした上で、児童生徒の学力の得点別・地域別・男女別の成績などによって学力テストの結果を比較分類したりするものである。

本書は、戦後から今日までの各都道府県における「標準学力テスト」の開発・実施の実態に焦点化した日本初の資料集であり、いわば日本教育史や学習評価史研究では未開拓分野となっていたものである。本書の刊行によって、日本の学力テスト体制構築に関する未開拓分野の研究の深化と発展の一助を願うものであるが、合わせて全国の47都道府県における戦後学力テストの実態解明も意図して関連資料を復刻する。今回の第2回配本は、滋賀県から沖縄県までの西日本編である。

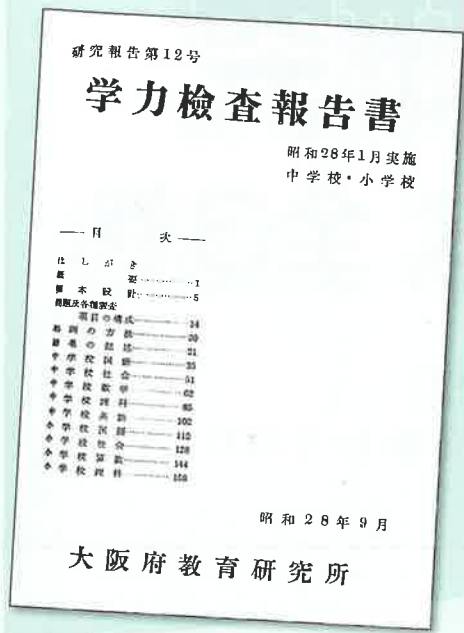
特色

1 全国の47都道府県が戦後直後から開発・実施した「標準学力テスト」を中心に、「学力テスト」に関する資料の約110編を収録。

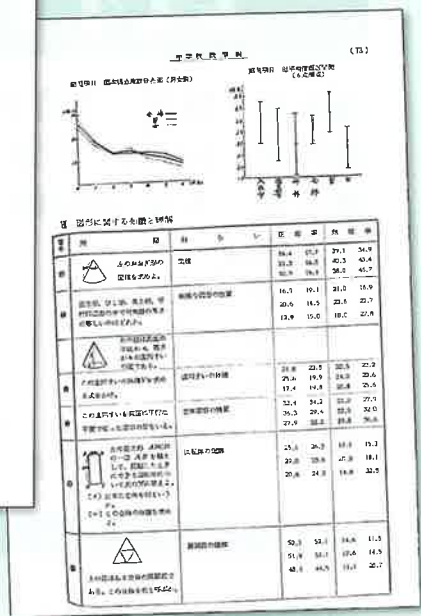
2 戦後の「学力テスト」の開発・実施に関する47都道府県の特徴、利活用の実態などを確認できる。「テストの名称」、「調査・研究の名称」、「実施年月日（実施年度）」、「実施学年と教科、実施規模、実施目的、テスト問題の構成や内容、結果の分析内容、実施主体などに注目したい。

3 文部省などの「ナショナル・テスト」と比較して、47都道府県の「ローカル・テスト」の先駆性・多様性が確認できるとともに、学習指導の改善や学力向上に貢献した実態も伺い知ることができる。

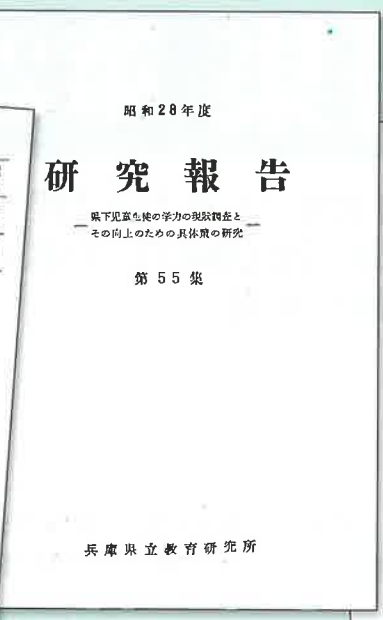
内容見本



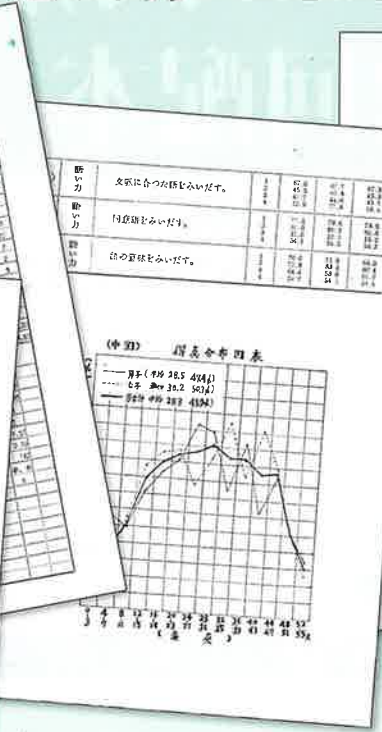
▲4巻 大阪



▲4巻 大阪



▲4巻 兵庫



▲5巻 広島

日本の戦後の学力テスト政策の実態や課題を解明する教育史研究初の資料集。全国47都道府県が戦後直後から開発・実施した「標準学力テスト」に関する資料の約110編を収録。いま、日本の戦後の「地方学力テスト」の全貌が解明される!!

●収録内容一覧（第4巻（第6巻）

第4巻 「関西地方編」

滋賀 「読みの機能に即した読解力の様態と指導に関する研究」(滋賀県教育研究所「読みの機能に即した読解力の様態と指導に関する研究」研究紀要第4集、19962)

京都 「小学校・中学校児童・生徒の学力実態に関する研究(算数・数学)」(滋賀県教育研究所「小学校・中学校児童・生徒の学力の実態に関する研究(算数・数学)」1970)

大阪 「小学校国語能力調査(京都府教育研究所「小学校国語能力調査について」教育研究2、1949)

大阪 「国語書取標準テスト(京都府教育研究所「国語書取標準テストの報告」教育研究3、1950)

大阪 「総合学力検査」(京都府教育研究所「総合学力検査の分析的考察」教育研究7、1951)

大阪 「算数学力領域診断テスト」(京都府教育研究所「算数学力領域診断テストと算数学力の諸問題」教育研究17、1957)

大阪 「学力調査」(京都府教育研究所「京都府公立諸学校小・中・高における学力の実態とその向上について」第2回(最終)報告書「教育研究」第38号、19967)

大阪 「学力検査」(大阪府教育研究所「国語・数学・理科 学力検査報告書」研究報告第2号、19950)

大阪 「学力検査」(大阪府教育研究所「学力検査報告書 昭和28年1月実施 中学校・小学校」研究報告第12号、19953)

大阪 「小学校における各種の教育条件とその成績との関係について」(大阪府教育研究所「昭和27年度学力検査結果からみた小学校における各種の教育条件とその成績との関係について」研究報告第13号、19954)

奈良 「学力調査」(大阪府科学教育センター「昭和37年1月実施 学力調査報告書 小学校第6学年」研究報告集第2号の1162)

奈良 「小学校基礎学力調査」(奈良県教育委員会「昭和二十九年度基礎学力調査の結果について(中間発表)」奈良県教育委員会「第535号、19955」)

兵庫 「中学校基礎学力調査」(奈良県教育委員会「昭和三十年度 中学校基礎学力調査の結果について 国語科・数学科」奈良県教育委員会「第546号、19956」)

兵庫 「国語・算数・数学学力調査」(奈良県国語研究会「昭和三十三年 小学校・中学校 国語学力(読解力)調査報告書」奈良県教育委員会「昭和三十三年 算数・数学学力調査中間報告」奈良県教育委員会「第582号、19959」)

兵庫 「小中学校学力調査」(兵庫県立教育研究所「小中学校学力調査中間報告」研究報告19953)

兵庫 「学習能力調査」(兵庫県立教育研究所「県下児童生徒の学力の現状調査とその向上のための具体策の研究」研究報告第55集、19954)

兵庫 「学力調査」(兵庫県立教育研究所「学力調査」県下児童生徒の学力調査とその発達に関する研究「研究報告」第65集、19957)

岡山 「県標準学力検査」(岡山県教育研究所「1953年度 岡山県標準学力検査(小学校・国・算、中学校・国・数」岡山県教育研究所「第13号、19955」)

岡山 「へき地における学力差の要因分析」(岡山県教育研究所「へき地における学力差の要因分析」岡山県教育研究所「第17号、19957」)

岡山 「算数学力調査」(岡山県教育庁指導課「算数学力調査報告(第1分冊)昭和33年度岡山県小学校算数学力調査(文章題の分析)総説編」岡山県教育庁指導課「算数学力調査報告(第1分冊)昭和33年度岡山県小学校算数学力調査(文章題の分析、19959)

岡山 「図形学力調査」(広島県教育研究所「中・小・高三年学力調査報告書」広島県教育研究所「研究紀要」1、19952)

岡山 「図形学力調査」(広島県教育研究所「小学校図形指導の問題点について」紀要23、19960)

岡山 「中学校における理科の学力調査」(広島県教育研究所「中学校における理科の学力調査結果について」数量処理を要する問題の解決能力の実態」紀要25、19961)

岡山 「標準学力調査」(鳥取県立教育研究所「標準学力調査(附・中学校数学テスト)19950)

岡山 「教育検査実施状況調査」(鳥取県立教育研究所「共同研究3「教育検査実施状況調査」研究紀要第11号、19959)

岡山 「県小学校国語学力診断テスト」(鳥取県立教育研究所「国語の診断 鳥取県小学校国語学力診断テスト結果のまとめ」第2集、19970)

岡山 「学力診断テスト」(鳥取県立教育研究所「学力診断テスト」研究紀要第29集、19963)

岡山 「学力を規制する要因の分析的研究」(鳥取県立教育研究所「学力を規制する要因の分析的研究」個人の条件が学力をどのように規制するか」研究紀要第30集、19963)

岡山 「能力差に因する学習指導法の研究」(鳥取県立教育研究所「能力差に因する学習指導法の研究」教科別(中学校英語・数学科)能力別(算数)による指導の効果と問題点」研究紀要第42集1、19968)

岡山 「アチーブメント・テスト」(山口県教育委員会「昭和25年度 アチーブメント・テストの検討(その二)」教育庁「教育広報」二月号、19952)

山口 「アチーブメント・テスト」(山口県教育委員会「昭和25年度 アチーブメント・テストの検討(その三)」山口県教育庁「教育広報」六月号、19952)

山口 「学校規模別にみた県小・中学校の実態」(山口県教育研究所「学校規模別にみた山口県小・中学校の実態」研究紀要第23集、19957)

山口 「標準学力検査」(香川県教育委員会「標準学力検査について」香川県教育委員会「教育委員会月報」第3巻第4号、19951)

山口 「県中・小学校児童生徒の基礎学力検査」(愛媛県教育研究所「愛媛県小中学校児童生徒の基礎学力検査」教育研究所「研究紀要」第1集、19950)

山口 「標準学力検査の検証」(愛媛県教育研究所「標準学力検査特集号」教育研究所「研究紀要」第6集、19951)

山口 「新訂愛研式診断的標準学力テストによる学力調査(小学校)」(愛媛県立教育研究所「特集 新訂愛研式診断的標準学力テストによる学力調査(小学校)」教育研究紀要第33集、19962)

山口 「新制田中式標準学力テスト」(徳島県教育庁指導課「新制田中式標準学力テストの実態と考察(算数)」基礎学力を培うために」指導叢書第三二集、女子教員の研究記録、19954)

山口 「小学生的計算力」(平島 卓「小学生的計算力」徳島県に於ける実態調査」徳島県教育会、19955)

山口 「学力検査」(高知県教育委員会指導課「昭和二十六年八月 中学二年生を対照とする学力検査実施要項」19951)

山口 「学力(算数) 学力向上要因の調査研究」(高知県教育センター「学力(算数) 学力向上要因の調査研究」紀要」第9号、19973)

山口 「第6巻「九州・沖縄地方編」

福岡 「学力検査」(福岡県教育委員会指導課「学力検査を終えて」教育福岡No.8、19950)

福岡 「学業不振児の研究」(福岡県教育センター「学業不振児の研究」研究紀要No.11、19973)

福岡 「小学一年の書字力調査」(佐賀県教育研究所「小学一年の書字力に関する調査」小学一年の書字力に関する報告第1次、昭和二十七年九月、19952)

福岡 「学級経営のための標準テストの利用」(佐賀県立教育研究所「学級経営シリーズ 第3集 学級経営のための標準テストの利用」実録編」研究紀要第18号、19959)

【日本現代史シリーズ5】戦後教育改革の空白を埋める貴重な資料！
教育刷新委員会総会配布資料集 全3巻

●解説 高橋寛人（石巻専修大学教授・横浜市立大学名誉教授）
●体裁 B5判・上製 約1,700頁 ISBN978-4-908823-05-3 C3337 ●定価 本体90,000円＋税
●教育刷新委員会での審議録は、『教育刷新委員会・教育刷新審議会 会議録』全13巻（岩波書店）として刊行されているが、会議での配布資料は収録されていない！本書『教育刷新委員会総会配布資料集』では、教育刷新委員会の第1回～第80回総会（1946年9月7日～1948年10月15日）に配布された資料を収録。

【日本現代史シリーズ6】
教育刷新審議会配布資料集 全4巻

●解説 井深雄二（大阪体育大学教授・奈良教育大学名誉教授）
●体裁 B5判・上製 約2,000頁 ISBN978-4-908823-27-5 C3337 ●定価 本体120,000円＋税
『教育刷新委員会総会配布資料集』（全3巻 2016年6月刊）に続き、本書『教育刷新審議会配布資料集』で教育刷新委員会・教育刷新審議会関係の現存する資料をほとんど全部復刻。昭和24年6月～昭和27年6月までの簿冊『教育刷新審議会配布資料等』全5冊と付録の簿冊『教育刷新審議会』1冊を収録。戦後教育改革の理念の生成を知る上での第一級資料が完結。

【日本現代史シリーズ7】戦後教育史研究の必携資料
戦後初期コア・カリキュラム研究資料集
第1回配本 東日本編 全3巻

●編集・解説 金馬国晴（横浜国立大学教授）／安井一郎（獨協大学教授）
●体裁 B5判・上製 約1,900頁 ISBN978-4-908823-38-1 C3337 ●定価 本体90,000円＋税
●巻構成 第1巻 解説、資料リスト、北海道・東北・北関東 第2巻 東京・南関東 第3巻 北陸・甲信越・東海

【日本現代史シリーズ8】戦後教育史研究の必携資料
戦後初期コア・カリキュラム研究資料集
第2回配本 西日本編 全3巻

●編集・解説 金馬国晴（横浜国立大学教授）／安井一郎（獨協大学教授）
●体裁 B5判・上製 約1,900頁 ISBN978-4-908823-68-8 C3337 ●定価 本体90,000円＋税
●巻構成 第4巻 解説、資料リスト、近畿1（滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山） 第5巻 近畿2（兵庫） 第6巻 中国・四国・九州

【日本現代史シリーズ9】戦後教育史研究の必携資料
戦後初期コア・カリキュラム研究資料集
第3回配本 附属校編 全3巻

●編集・解説 金馬国晴（横浜国立大学教授）／安井一郎（獨協大学教授） 溝邊和成（兵庫教育大学教授）
●体裁 B5判・上製 約2,000頁 ISBN978-4-908823-60-2 C3337 ●定価 本体90,000円＋税
●巻構成 第7巻 附属校編 東日本（北海道・東北・関東・中部） 第8巻 附属校編 西日本1（近畿1（京都・兵庫））
第9巻 附属校編 西日本2（近畿2・中国・四国・九州）

【日本現代史シリーズ10】戦後教育史研究の必携資料
戦後初期コア・カリキュラム研究資料集
第4回配本 中学校編・附属校編 全4巻

●編集・解説 金馬国晴（横浜国立大学教授）／安井一郎（獨協大学教授） 溝邊和成（兵庫教育大学教授）
●体裁 B5判・上製 約2,200頁 ISBN978-4-908823-91-6 C3337 ●定価 本体120,000円＋税
●巻構成 第10巻 附属校編補遺、境界編 第11巻 中学校編 東日本編1
第12巻 中学校編 東日本編2 第13巻 中学校編 西日本編

【日本現代史シリーズ11】戦後教育史研究の必携資料
戦後初期コア・カリキュラム研究資料集
第5回配本 諸団体編 全4巻

●編集・解説 金馬国晴／安井一郎／溝邊和成
●体裁 B5判・上製 約2,400頁 ISBN978-4-910672-10-6 C3337 ●定価 本体124,000円＋税
●巻構成 第14巻 諸団体 東日本 第15巻 諸団体 西日本 第16巻 補遺 一般校 第17巻 補遺 附属校

【日本現代史シリーズ12】自閉症児教育研究初の資料集
戦後自閉症児教育研究資料集 全3巻

●編集・解説 細潤富夫（埼玉大学名誉教授）
●体裁 B5判・上製 約1,700頁 ISBN978-4-910672-30-4 C3337 ●定価 本体95,000円＋税
●巻構成 第1巻 1960年～1968年 第2巻 1969年～1972年 第3巻 1973年～2009年

【日本現代史シリーズ13】戦後の「地方学力テスト」の全貌があきらかに
戦後学力テスト研究資料集 第1回配本 全3巻

●編集・解説 北野秋男（日本大学文学部特任教授）
●体裁 B5判・上製 約2,000頁 ISBN978-4-910672-38-0 C3337 ●定価 本体100,000円＋税
●巻構成 第1巻 北海道・東北編 第2巻 関東編 第3巻 北信越・東海編

推薦します

本資料集は、戦後の47都道府県における「戦後学力テスト」の開発・実施に関して各自治体が刊行した資料を集めたものである。各自自治体を丁寧に回収された、その資料の迫力にまずは圧倒される。まさに力作である。

2000年代半ば以降、P D C Aサイクルや質保証といった言葉が教育分野にも流入し、2007年には全国学力・学習状況調査（全国学調）が始まることになった。英米における競争主義的で管理主義的な学力テスト政策の展開もあって、全国学調はさまざまな議論を巻き起こした。しかし、日本の全国学調は、英米の統一学力テストのように学校や教師や子どもたちを直接的に査定したり、結果を処遇につなげたりするものではない。むしろ、目指す学力像（理念）を提示したり、P D C Aサイクルという手順を強いられる側面はある。しかし、その影響の程度や中身については、都道府県によって異なる。さらに言えば、各地方自治体でもさまざまな学力調査が、より広い対象学年や教科で実施されており、それが、各自自治体のP D C Aサイクルや学校評価において重要な位置を占めていることもしばしばある。またその中には、必ずしも管理的な性格のものだけではなく、長い歴史を持って、その地域の教育と学習の実態をふまえた取り組みを支えてきたものも存在する。

全国レベルの学力調査についての歴史的検討は一部なされてきたが、こうした地方自治体が発行してきた学力調査の実態を明らかにする研究はほとんどなかった。本資料集は、英米のイメージで、「学力テスト体制」という言葉でなされる議論では捉えそなっている、日本に固有の学力テスト（調査）の位置づけや機能の仕方、その意味と問題点を現実に即して明らかにする上で、重要な手掛かりを与えてくれるだろう。またそれは、学力調査や教育評価に関わる取り組みの実態のみならず、各地方自治体の教育実践研究の内実にも貴重な手掛かりとなるだろう。本資料集を足掛かりに、地方教育委員会実践の内実を解明する研究が生まれてくることを期待している。

戦後教育史や教育評価研究の未開拓の領域を
解き明かす貴重で重厚な基礎資料集

石井英真（京都大学大学院准教授）

本書は、戦後地方で実施された数多くの標準学力テストに関する資料・文献のうち、特に重要な資料110件を選び出して復刻したものである。テストの実施主体、実施年度、問題の内容分析結果など具体的な情報を得ることができる。

標準学力テスト（調査）はG H Q・C I Eや地方軍政部から推奨され、文部省が標準検査の記録を指導要録（学籍簿）に記載することとしたため、全国各地で標準学力テストが開発・実施されてきた。

本復刻資料は、北野教授がこれまでに調査した膨大な資料のごく一部である。教授はこれまで全国の教育研究所・教育センターや各県市の公立図書館などを回って、標準学力テストだけでなく、地方で行われた学力調査・学力テスト全般に関する文献・資料を収集してきた。

北野著「地方学力テストの歴史―47都道府県の戦後史―」（風間書房、2023年）は、地方学力テストに関する社会的・歴史的観点からの研究成果である。同書後半の資料編（387～633ページ）には、敗戦から1991年までに実施された地方学力調査946件について、都道府県ごとに調査の時期・対象・目的・実施主体・問題内容・結果分析などが1件ごとにまとめられている。

地方学力調査に関する文献目録も作成されている。教育委員会や教育研究所の刊行物、学力テストの分析結果に関する論文などが都道府県ごとに整理され、所蔵機関や雑誌論文の掲載ページが記されている（北野秋男研究代表『学力の需要と供給に関する構造的分析研究』科学研究費挑戦的研究（萌芽）研究成果報告書、2018～2020年度、2021年、86～153ページ）。

地方学力テストに関する膨大な資料から、戦後子ども時代の学力がどのようにとらえられたかを、それぞれの時代や地域ごとにわけて説明することができよう。教育心理学、認知科学、教科教育学、発達心理学をはじめ教育学の様々な領域の研究者にとって宝庫である。地方教育史を叙述する際にも有益な資料である。

『戦後学力テスト研究資料集』が、地方学力テストに関する膨大な資料の活用との契機となることを期待する。

地方学力テストの資料を活用して戦後の地方における教育活動の実情の究明を！

高橋寛人（石巻専修大学教授・横浜市立大学名誉教授）

戦後、全国の都道府県で開発・実施された「標準学力テスト」は、日本の学力向上のルーツともなるものである。



文教局 研究調査課 NO. 30

一九五五年度義務教育学力測定結果の解説 研究調査課

（国語） 一 国語科・算数科・理科

（国語） 二 国語科・算数科・理科

（国語） 三 国語科・算数科・理科

（国語） 四 国語科・算数科・理科

（国語） 五 国語科・算数科・理科

（国語） 六 国語科・算数科・理科

（国語） 七 国語科・算数科・理科

（国語） 八 国語科・算数科・理科

（国語） 九 国語科・算数科・理科

（国語） 十 国語科・算数科・理科

（国語） 十一 国語科・算数科・理科

（国語） 十二 国語科・算数科・理科

（国語） 十三 国語科・算数科・理科

（国語） 十四 国語科・算数科・理科

（国語） 十五 国語科・算数科・理科

（国語） 十六 国語科・算数科・理科

（国語） 十七 国語科・算数科・理科

（国語） 十八 国語科・算数科・理科

（国語） 十九 国語科・算数科・理科

（国語） 二十 国語科・算数科・理科

（国語） 二十一 国語科・算数科・理科

（国語） 二十二 国語科・算数科・理科

（国語） 二十三 国語科・算数科・理科

（国語） 二十四 国語科・算数科・理科

（国語） 二十五 国語科・算数科・理科

（国語） 二十六 国語科・算数科・理科

（国語） 二十七 国語科・算数科・理科

（国語） 二十八 国語科・算数科・理科

（国語） 二十九 国語科・算数科・理科

（国語） 三十 国語科・算数科・理科

（国語） 三十一 国語科・算数科・理科

（国語） 三十二 国語科・算数科・理科

（国語） 三十三 国語科・算数科・理科

（国語） 三十四 国語科・算数科・理科

（国語） 三十五 国語科・算数科・理科

（国語） 三十六 国語科・算数科・理科

（国語） 三十七 国語科・算数科・理科

（国語） 三十八 国語科・算数科・理科

（国語） 三十九 国語科・算数科・理科

（国語） 四十 国語科・算数科・理科

（国語） 四十一 国語科・算数科・理科

（国語） 四十二 国語科・算数科・理科

（国語） 四十三 国語科・算数科・理科

（国語） 四十四 国語科・算数科・理科

（国語） 四十五 国語科・算数科・理科

（国語） 四十六 国語科・算数科・理科

（国語） 四十七 国語科・算数科・理科

